

2011年2月14日

各位

オリックス株式会社

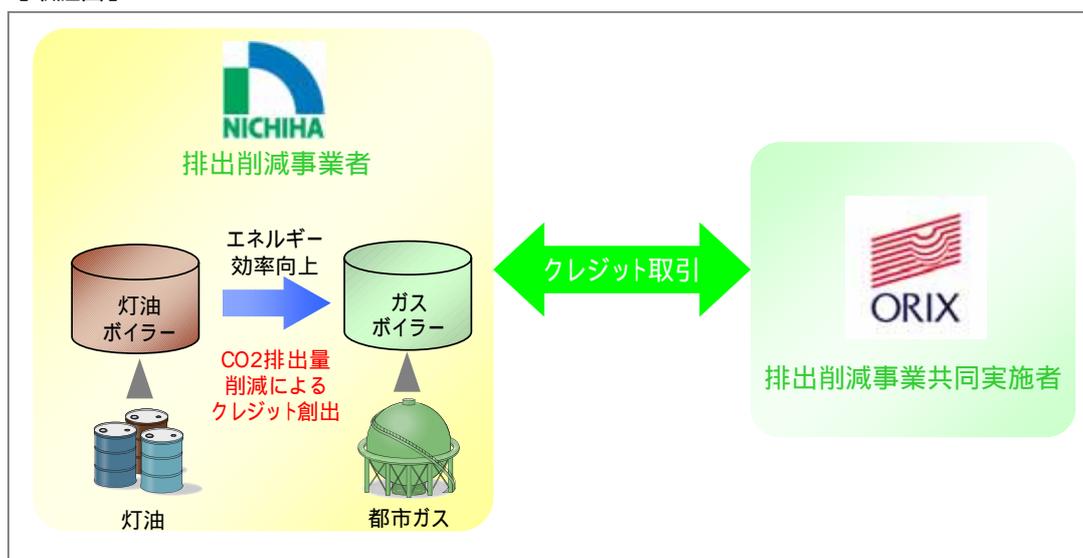
ボイラーの燃料転換による CO₂ 排出量削減を国内クレジット化

～ 窯業系外壁材の最大手 ニチハグループの省エネルギー化を推進～

オリックス株式会社（本社：東京都港区、社長：井上 亮、以下「オリックス」）は、ニチハ株式会社（本社：愛知県名古屋市、社長：井上 洋一郎、以下「ニチハ」）およびグループ会社のニチハマテックス株式会社（本社：愛知県名古屋市、社長：山田 俊一、以下「ニチハマテックス」）と共同で、国内クレジット制度^(*)に基づき「高効率ガスボイラー導入による省エネ事業」を実施しますので、お知らせします。

今回の事業は、ニチハマテックスの習志野工場において、ボイラー燃料を灯油から高効率の都市ガスに転換するもので、3社共同で国内クレジット制度へ申請し、承認を受けました。本事業の実施により、ニチハは事業実施の5年間で、3,718t-CO₂の排出量削減を見込んでおり、オリックスは本事業によって創出されるCO₂排出量削減分を国内クレジットとして、ニチハより取得する予定です。

【取組図】



オリックスは2008年から、さまざまな排出権クレジットの販売や、お客さまの商品・サービスをオフセット商品として提案から導入までサポートするカーボン・オフセットを展開してきました。リサイクル施設やデータセンターのオフセット化など、お客さまへのサービスのみならず、オリックス自動車が発展するカーシェアリング車両をすべてオフセット化するなど、お客さま、自社を通じて社会の環境負荷低減活動を推進しています。

一方、ニチハグループは、環境負荷低減活動を企業経営の重要なテーマと位置づけ、これまで、いわき工場でのA重油からLNGサテライト設備導入によるガスへの燃料転換の実施により年間6,200t-CO₂の排出量削減を見込むなど、積極的な省エネルギー取組を実施してきました。今後は自社の窯業系建材をカーボン・オフセット商品として、住宅や自動車用内装材に導入することにより、各家庭のオフセット化や、自動車排ガスのオフセット化の実現など、営業面における環境付加価値の追求を計画しています。

オリックスは環境・エネルギー事業におけるノウハウを生かし、今回のクレジット購入のみならず、今後のニチハグループが推進する環境事業における協業について、さまざまな角度から検討し、お客さまを通じて社会の低炭素化へ貢献してまいります。

(*1)... 国内クレジット制度とは、京都議定書目標達成計画において規定されているCO₂ 排出量を抑制するために排出削減量を第三者機関が認証し、自主行動計画などの目標達成のために活用する仕組みです。中小企業などにおける排出削減の取り組みを活発化し、促進することを目的としています。

国内クレジット制度:<http://jcdm.jp/>

以 上

【排出削減事業の概要】

(1) 事業の名称

高効率ガスボイラー導入による省エネ事業

(2) 実施事業所

ニチハマテックス習志野工場

所在地：千葉県習志野市東習志野 6 丁目 18 - 1

(3) 国内クレジット制度申請者

ニチハマテックス：排出削減事業者

オリックス：排出削減事業共同実施者（国内クレジット保有予定者）

ニチハ：その他関連事業者

(3) 事業期間

2008 年度から 2012 年度の 5 年間

(4) 削減予定の CO₂ 排出量

3,718t-CO₂

< 本件に関するお問い合わせ先 >
オリックス株式会社
広報部：池田・内田 TEL：03-5419-5102